

令和 7 年度 瀬戸市地域産業振興会議
総会

第 1 号議案

役員の指名について

瀬戸市地域産業振興会議規約第 1 1 条第 2 項の規定に基づき副会長、会計担当理事、監事を次のとおり指名する。

(敬称略)

役職名	団体名	職責	氏名
副会長	愛知県陶磁器工業協同組合	理事長	中野 昭雄
副会長	瀬戸暁工業団地協議会	会長	水野 一隆
副会長兼 会計担当理事	瀬戸市	副市長	大森 雅之
監事	瀬戸市穴田企業団地連絡協議会	会長	杉山 大介
監事	瀬戸金融協会	会長	成田 順一

瀬戸市地域産業振興会議規約第 1 3 条第 2 項の規定に基づき顧問を次のとおり指名する。

(敬称略)

役職名	団体名	職責	氏名
顧問	国立大学法人名古屋工業大学	学長	小畑 誠
顧問	瀬戸市議会	議長	富田 宗一
顧問	瀬戸市	市長	川本 雅之

瀬戸市地域産業振興会議規約第 1 4 条第 2 項の規定に基づき参与を次のとおり指名する。

(敬称略)

役職名	団体名	職責	氏名
参与	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 中部センター	所長代理	加藤 且也
参与	独立行政法人 日本貿易振興機構 名古屋貿易情報センター	所長	平野 修一
参与	一般財団法人 ファインセラミックスセンター	専務理事	獅山 有邦
参与	あいち産業科学技術総合センター 技術支援部 瀬戸窯業試験場	場長	福田 聡史
参与	経済産業省中部経済産業局 産業部 産業振興課	課長	片桐 祐子
参与	愛知県 経済産業局 産業部 産業政策課	課長	社本 朗
参与	瀬戸公共職業安定所	所長	松永 由美

第 2 号議案

令和 6 年度瀬戸市地域産業振興会議 事業報告

1. 会議の開催

総会 1 回、幹事会 2 回

期 日	名 称	内 容
令和 6 年 4 月 2 5 日（木）	第 1 回 幹事会	1 令和 6 年度瀬戸市地域産業振興会議総会の開催について
5 月 1 7 日（金）	総 会	1 令和 6 年度瀬戸市地域産業振興会議事業計画（案）について 2 令和 6 年度瀬戸市地域産業振興会議収支予算（案）について
9 月 1 9 日（木）	第 2 回 幹事会	1 令和 6 年度事業実施状況について 2 令和 7 年度事業実施に向けた意見交換

2. 産業支援・交流事業

(1) 「産業支援センターせと」での支援策等

① コーディネーター・相談員による定例相談、企業訪問

定例相談による新事業展開、販路開拓、補助金活用等のアドバイスのほか、企業訪問による案件発掘及びフォローアップ、支援機関へのコーディネート等を実施した。

令和6年度も引き続き、市内事業者が経営課題について専門家により相談しやすくなるよう、相談窓口を瀬戸商工会議所内で開設し、連携を強化した。

相談内容	開催日	コーディネーター／相談員	令和6年度実績 (令和5年度実績)
a. 新事業展開、 販路開拓相談	事前シフト制による月12回のほか、事前予約制で随時対応	・新事業支援コーディネーター ・技術支援コーディネーター ・新事業・事業承継支援コーディネーター ・IT支援コーディネーター ・補助金支援コーディネーター	来所117件(151件) 電話11件(10件) 事業者訪問56件(50件)
b. 技術相談、 IT・知財相談			
c. 創業支援相談	原則、毎週火曜日	・創業支援コーディネーター	来所151件(142件)

② 瀬戸商工会議所による専門相談（経営、法律、特許、税務、IT活用等の各種相談）

従来からの融資や税務相談に加え、インボイス制度や電子帳簿保存法等の申請に向けた事業環境の変化などに対応した相談窓口の充実を図った。

※ 令和6年度 利用者数延べ354名(令和5年度 利用者数延べ374名)

③ 人材確保・定着のための雇用関係助成金活用セミナー

令和6年度最新の助成金を中心に、おすすめ助成金と受給事例、助成金を活用した人材定着や雇用条件、ハラスメント対策等解説する助成金活用セミナー及び個別相談会を開催した。

開催日時	会場	参加者数	内容・講師
令和6年 9月11日(水) 13:30～ 15:30	瀬戸商工会議所 大会議室	6名 うちオンライン 2名	人材確保・定着のための雇用関係助成金セミナー 講師 横井コンサルティングオフィス 代表 横井 ゆきえ 氏
15:30～ 16:30		2名	個別相談 相談員 愛知労働局職員

④ 中小企業関連施策説明会－経済産業省等が実施する中小企業支援施策について－

国の支援制度の利用促進を図るため、令和7年度に実施が予定されている中小企業支援施策の説明会を開催した。併せて転職市場の動向など、人手不足解消に向けたについてセミナーを開催した。

(瀬戸市地域産業振興会議、瀬戸商工会議所、瀬戸信用金庫共催事業)

開催日時	会 場	参加者数	内 容・講 師
令和7年 1月28日(火) 13:30～ 16:00	瀬戸蔵4階 多目的ホール	54名 うちオンライン 33名	1 中小企業に関する支援施策について 講師 中部経済産業局産業部産業振興課 課長 今野 直明 氏 2 転職市場の動向と職場定着について 講師 株式会社リクルート 高塚 彰哉 氏

(2) 事業者支援パンフレット作成

市内事業者の経営環境改善に向けた取り組みを支援するため、市内事業者が利用できる補助制度等を1冊にまとめたパンフレットを作成し、市内金融機関の窓口など関係機関と連携し、支援制度の啓発を図った。

(3) 外部人材・専門家派遣活用事業補助金

経営改善に取り組む意欲がある市内事業者の経営力を強化するため、独立行政法人中小企業基盤整備機構又は公益財団法人あいち産業振興機構の専門家派遣事業に係る費用の一部の助成に加え、自社の課題解決のため業務委託により外部人材を活用する費用の一部を助成するとともに、外部人材の積極的な活用について普及啓発を行った。

(補助対象経費の2分の1、上限20万円(外部人材活用の場合は10万円)、同一事業者への交付は同一年度1回に限る)

※令和6年度 利用件数3件(令和5年度 利用件数0件)

① はじめてのDX 取り組む前の第1歩

生成AIの簡単な活用事例の紹介及びより専門的な活用に向けて、副業・兼業プロ人材を活用してDXを推進した企業の事例と成功のポイントを紹介するセミナーを開催し、普及啓発を行った。

開催日時	会 場	参加者数	内 容・講 師
令和7年 1月29日(水) 13:30～ 15:30	瀬戸市デジタル リサーチパーク センター 研修室2	9名	講師 愛知県プロフェッショナル人材戦略拠点 サブマネージャー／ものづくりマイスター (IT部門) 佐野 敏幸 氏 愛知県プロフェッショナル人材戦略拠点 統括サブマネージャー 元岡征志 氏 株式会社高瀬金型 DX担当者

(4) 販路拡大事業補助金

市内事業者が国内の展示会・見本市等に出展する場合に出展費用の一部の助成に加え、技術PR用動画の作成費用や企業間取引（BtoB）向けビジネスマッチングサイトへの掲載費用も対象として費用の一部を助成した。また、チャレンジ枠として初出展の展示会に限り、上限額を拡大した。

（補助対象経費の2分の1、小売りを目的としない国内の展示会等への出展に対しては上限20万円（初出展の場合は30万円）、海外の展示会等への出展や渡航に対して上限40万円、小売りを目的とする展示会等への出展に対して上限6万円、ビジネスマッチングサイトへの掲載に対して上限20万円、技術PR用動画作成に対して上限10万円、同一事業者への交付は同一年度1回に限る）

※令和6年度 利用件数18件（令和5年度 利用件数22件）

(5) 知的財産登録費助成事業（知的財産権登録事業補助金）

知的財産権（特許権、実用新案権、意匠権及び商標権）の登録に係る費用の一部を助成した。

（補助対象経費の2分の1、上限15万円、同一事業者への交付は同一年度内で2件まで15万円を限度とし、通算3年度まで）

※令和6年度 利用件数4件（令和5年度 利用件数5件）

(6) 職場環境づくり応援事業（職場環境づくり応援事業補助金）

多様な従業員の働きやすい職場環境を整えることにより、生産性向上や雇用定着・確保の促進を図るため、産業支援センターせとのコーディネーターによる伴走支援を行うとともに、事業に要する費用の一部を助成した。

（下記①から③を組み合わせて活用可能。上限50万円、1事業者1回限り）

① 労働衛生整備事業

事業の用に供している市内の建物において、職場の労働衛生を整備する設備の新設又は増設に係る費用の一部を助成した。

（補助対象経費の2分の1、上限30万円）

※令和6年度 利用件数3件

② 業務改善ITツール導入支援事業

情報管理及びコミュニケーションの向上が図られる業務改善ITツールを導入する費用の一部を助成した。

（補助対象経費の全額、上限10万円）

※令和6年度 利用件数0件（令和5年度 利用件数2件）

③ テレワーク導入促進事業

働き方改革のためにテレワークを導入する費用の一部を助成した。

（補助対象経費の2分の1、上限20万円）

※令和6年度 利用件数0件（令和5年度 利用件数0件）

(7) 情報発信事業

① 企業向け支援施策、セミナー開催等の情報提供

セミナーや国・県・市の支援制度について、産業支援センターせとのホームページに掲載するとともに、メールマガジン及びInstagramで情報提供を行った。

(Instagram フォロワー 135名)

② 地元企業のPR支援

産業支援センターせとホームページの「瀬戸市企業ガイド」について、関係機関と連携し随時掲載内容の更新を行った。

※掲載件数 143件

③ 金城学院大学と連携した情報発信事業

金城学院大学と連携し、女子大学生が主体的に市内企業及びせと・しごと塾卒塾生の取材を行い、ラジオ放送、映像コンテンツ、ソーシャルメディア等を通して、若年層向けの情報発信を行った。

令和6年度も引き続き、職場の雰囲気や魅力が伝わるように座談会形式で取材を行った。また、ターゲットとなる学生を意識し、新たに縦型のショート動画を作成し、情報発信の強化に取り組んだ。

※毎月第3金曜日に RADIO SAN-Q に出演、同内容を Instagram に投稿

※令和6年度 市内企業レポート6件、せと・しごと塾卒塾生レポート6件

(8) 海外展開支援

海外展開を目指す事業者に海外ビジネスのノウハウを提供するため、日本貿易振興機構(JETRO)と連携し、海外展開の準備やターゲット国の選定方法、海外展開戦略検討などに関するセミナー及び個人ワークショップを開催した。

開催日時	会場	参加者数	内容・講師
令和6年 12月3日(火) 13:30～ 15:30	文化センター 12会議室	32名	「初めての輸出ガイダンスin瀬戸」 講師 ジェトロ新輸出大国コンソーシアム パートナー ダイスビュー有限会社 代表取締役 大槻 恭久 氏

(9) 新商品発掘・創出支援事業（新商品発掘創出支援事業補助金）

市内事業者の新商品の発掘・創出を支援するため、瀬戸商工会議所と連携し、開発に向けたセミナーを開催するとともに、創出に係る費用の一部を助成した。

(補助対象経費の3分の2又は2分の1、上限5万円)

※令和6年度 利用件数10件 (令和5年度 利用件数15件)

開催日時	会場	参加者数	内容・講師
令和6年 10月7日(月) 14:00～ 16:00	瀬戸商工会議所 大会議室	13名	「新事業展開セミナー」 講師 中小企業診断士 寺田 久美 氏

3. 産学・産産連携事業

(1) 大学及び研究機関等との産学連携

技術支援コーディネーターのネットワークを活用し、大学等の研究成果（シーズ）と市内事業者のニーズとのマッチングの機会を提供するほか、技術開発や人材交流に向けた関係づくりを支援した。

・産業支援センターせと技術支援コーディネーターの活用

定例相談や企業訪問により企業の課題や要望を把握し、これらに即した具体的アドバイス、研究機関、行政機関とのコーディネートや課題に適合する補助金・融資制度等の紹介を行った。

(2) 名古屋工業大学連携事業

① 企業見学会

市内企業と名古屋工業大学及び学生の雇用に関するネットワークを構築し、市内企業への就業を促進するための企業見学会を開催した。

開催日	見学先企業	参加者延べ人数
令和6年 5月13日(月)	株式会社MARUWA 富士特殊紙業株式会社	58名
5月16日(木)	株式会社リンナイ 株式会社成田製陶所	

② サテライトキャンパスの開催

講義と実践を通じて最先端生成AIを活用し、業務効率化やスキルアップを図ることができるセミナーを開催した。

開催日時	会場	参加者数	内容・講師
令和6年 11月20日(水) 14:00～ 16:00	瀬戸蔵4階 会議室4・5	16名	・導入セッション 生成AIのトレンドとビジネスへの応用例の紹介 ・業務効率化における生成AIの活用方法 ・ハンズオンセッション AIツールの操作体験 講師 合同会社neuro pick 代表 名古屋工業大学大学院 舟曳 陸斗 氏

(3) 新事業展開・技術開発費助成事業（新事業展開・技術開発支援事業補助金）

市内事業者が行う新事業展開、新製品・新技術の研究及び開発に対して、大学・公的研究機関等との技術開発を目的とする共同研究、委託研究、材料や製品の分析、測定等を行う依頼試験に要した経費（経費の合計額が1万円未満の場合は対象外）の一部を助成した。（補助対象経費の2分の1、上限30万円、ただし、大学等研究機関との契約を有しない依頼試験等に対しては上限10万円、同一事業者への交付は同年度内で各区分において定めた額を限度とする）

※令和6年度 利用件数2件（令和5年度 利用件数2件）

4. 人材育成・雇用促進事業

(1) セミナー・講習会の開催

① 瀬戸商工会議所講習会

瀬戸商工会議所において、「経営革新セミナー」、「見てるだけで理解できる最新生成 AI セミナー」、「新事業開発セミナー」、「ダイバーシティ経営セミナー」、インターネットによる映像視聴で経営情報を学ぶ「Web セミナー」等の各種講習会を開催した。

※令和 6 年度 参加者数延べ 2 4 6 名（令和 5 年度 参加者数延べ 1 4 9 名）

(2) 中小企業者研修費助成事業

中小企業の人材を育成するため、独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施する研修を受講した場合に、受講料の一部を助成した。

（受講料の 2 分の 1、上限 5 万円）

※令和 6 年度 利用件数 3 件（令和 5 年度 利用件数 2 件）

(3) 雇用対策事業

市内事業者が抱える雇用における課題の解消に向けて、名古屋市内で近隣 8 市町合同による地元企業就職ガイダンスを開催（出展企業 8 5 社、うち市内企業 1 5 社）するなど、ハローワークと連携した事業を実施した。

(4) 企業訪問事業

産業支援センターせとのコーディネーターとハローワークの職員が連携して企業を訪問することで、人材確保支援や雇用に係る助成金活用等のアドバイスを行った。

(5) インターンシップ支援事業

名古屋産業大学等と連携し、複数の市内企業に 1 DAY インターンシップへの参画を得て、学生が多くの企業で学べる機会を提供する市内企業連携インターンシッププログラムを実施した。

開催日	内容	参加者数
令和 6 年 7 月 2 4 日（水）	企業向け事前説明会 株式会社ナリタテクノ 株式会社アンスコ DAITO株式会社 株式会社建光	企業 4 社
8 月 2 0 日（火）	学生向け事前説明会	学生 6 名
8 月 2 6 日（月） ～ 8 月 3 0 日（金）	8 月 2 6 日（月）市内散策 インターンシップ 8 月 2 7 日（火）株式会社ナリタテクノ 8 月 2 8 日（水）株式会社アンスコ 8 月 2 9 日（木）DAITO株式会社 8 月 3 0 日（金）株式会社建光	学生 6 名
9 月 6 日（金）	成果発表	学生 5 名 企業 4 社

(6) せとまちマッチング事業

学生、市内企業によるマッチングリストを作成し、リストに登録した学生と市内企業が LINE を利用して、インターンシップや企業見学会などの情報を共有した。

制度の更なる普及促進を図るため、学生向けのフライヤーを活用し、県内大学等のキャリアセンターや市内外各所に配置するとともに、就職フェア等での配布を行った。

(登録数 企業：42社 学生45名)

(7) 未来創造たまご塾 in せと

瀬戸キャリア教育推進協議会及び瀬戸・尾張旭雇用対策協議会と連携し、市内の小・中学生と起業家や市内企業との交流を通して、地域経済の発展に欠くことのできない新たな価値創造ができる人材を育成し、市内企業の人材確保につなげていくワークショップの開催に向けて、各所に PR 及び事業協力者の募集を行った。

(1) せと・しごと塾

第16期概要	開催期間	令和6年7月5日（金）～11月22日（金）	
	卒塾数	21名	
	内容	座学	15日15コマ
		実学	事業概要発表会（8月30日（金）3分間の事業PR） 事業計画発表会（11月22日（金）5分間の事業PR）

名称	開催日時	会場	参加者数	内容・講師
せと・創業カフェ (1回目)	令和6年 12月16日(月)	瀬戸商工会議所	7名	1 これから起業する人のためのAI活用 講師 小坂英雄氏(せと・しごと塾塾長) 2 交流会
起業 セミナー	令和7年 3月5日(水) 13:30～16:00	瀬戸蔵 4 階 多目的ホール	24名	1 起業のポイント 講師 小坂英雄氏(せと・しごと塾塾長) 2 卒塾生によるパネルディスカッション ファシリテーター 小坂英雄氏 パネラー 宮野美智代氏(14期生) 伊里智仁氏(16期生) 3 創業支援施策紹介
せと・創業カフェ (2回目)	令和7年 3月17日(月)	瀬戸商工会議所	13名	1 今日からできる！名刺で仕事を取る3つのポイント 講師 小坂英雄氏(せと・しごと塾塾長) 2 交流会

※令和6年度 計42回（令和5年度 計42回）

第3号議案

令和6年度瀬戸市地域産業振興会議 収支決算報告

【収入】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	備 考
前年度繰越金	2,115,916	2,115,916	
負 担 金	11,538,000	11,538,000	瀬戸市 10,500,000 瀬戸商工会議所 386,000 愛知県陶磁器工業協同組合 386,000 瀬戸暁工業団地協議会 78,000 瀬戸市穴田企業団地連絡協議会 78,000 愛知県珪砂鉱業協同組合 39,000 瀬戸金融協会 39,000 瀬戸市商店街連合会 8,000 愛知県トラック協会尾東支部 8,000 日の出企業会 8,000 山の田企業懇話会 8,000
雑 収 入	2,084	111,645	セミナー講師謝金、預金利子
基 金	2,000,000	2,000,469	瀬戸市地域産業振興基金
合 計	15,656,000	15,766,030	

【支出】

(単位：円)

括弧内：主な事業（内数）

科 目	予算額	決算額	備 考
会 議 費	5,000	2,360	
事 業 費	15,553,700	14,763,309	産業支援・交流事業 12,424,909 （内訳） 謝金・旅費 2,920,000 （専門相談 2,920,000） 印刷製本費 34,100 通信運搬費 221,446 資料購入費 836 委託料 4,960,128 （コーディネーター等委託 3,453,450） （せともん“ど”セレクション 1,027,072） 補助金 4,259,200 （専門家派遣・外部人材活用 250,000） （販路拡大支援 2,685,000） （知的財産権登録 284,000） （職場環境づくり応援 576,000） （新商品発掘創出支援 464,200） 消耗品費 16,039 雑費 13,160 産学・産産連携事業 1,109,070 （内訳） 謝金・旅費 2,640 委託料 710,000 補助金 395,000 雑費 1,430 人材育成・雇用促進事業 1,229,330 （内訳） 謝金・旅費 990,000 印刷製本費 44,000 委託料 4,050 補助金 39,300 負担金 150,000 雑費 1,980
予 備 費	97,300	0	
合 計	15,656,000	14,765,669	

※次年度繰越金 収入決算額（15,766,030 円）－支出決算額（14,765,669 円）＝1,000,361 円

《特別会計》 創業支援事業 収支決算報告

【収入】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	備 考
繰 越 金	154,396	154,396	
負 担 金	2,000,000	2,000,000	瀬戸市からの負担金
雑 収 入	100,604	115,700	受講費5,000円×23名、預金利子700円
合 計	2,255,000	2,270,096	

【支出】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	備 考
事 業 費	2,100,604	1,972,295	謝金・旅費 682,250 交流事業費 105,690 委託料 1,080,420 消耗品費 25,211 備品購入費 16,394 使用料 49,500 雑費 10,780 予備費 2,050
還 付 金	154,396	154,396	
合 計	2,255,000	2,126,691	

※次年度繰越金 収入決算額（2,270,096 円）－支出決算額（2,126,691 円）＝143,405 円

財産に関する調書

1 基金

(1) 瀬戸市地域産業振興基金

前年度末現在高	決算年度末現在高	決算年度中 増 減 高	増減理由
6,744,832 円	4,745,246 円	△1,999,586 円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基金取崩し △2,000,469 円 ・ 預金利子 + 883 円

監査報告

令和6年度における瀬戸市地域産業振興会議の会計帳簿及び証拠書類について監査した結果、適正であると認める。

令和 7 年 4 月 2 / 日

監事 瀬戸金融協会

会長 成田順一

監事 瀬戸市穴田企業団地連絡協議会

会長 杉山大介

第4号議案

令和7年度瀬戸市地域産業振興会議 事業計画（案）

《基本方針》

瀬戸市地域産業振興会議の目的である活力ある地域経済と豊かなまちづくりの実現のため、「産業支援・交流」、「産学・産産連携」、「人材育成・雇用促進」、「創業支援」の4テーマを柱に据え各種事業を展開していく。

令和7年度は、市内事業者の課題解決や生産性向上、新商品開発、技術開発等の支援を行うとともに、職場の魅力向上等による雇用対策の取り組みや、新しい地方経済・生活環境創生交付金（事業実施期間：令和7年度から令和9年度まで）を活用し、スタートアップとの連携を行う。

1. 産業支援・交流事業

(1) 「産業支援センターせと」における支援策等

① コーディネーター・相談員による定例相談、企業訪問

新事業展開、販路開拓、補助金活用等のアドバイスのほか、企業訪問による案件発掘及びフォローアップ、支援機関へのコーディネート等を実施する。

令和7年度は、市内事業者が経営課題について専門家により相談しやすくなるよう、2名のチーフコーディネーターを配置し、相談日や相談内容に応じて、柔軟に対応できるように支援体制を整え強化する。

相談内容	開催日	コーディネーター／相談員
a. 新事業展開、 販路開拓相談	事前予約制で随時対応	・新事業支援コーディネーター ・技術支援コーディネーター ・新事業・事業承継支援コーディネーター ・IT支援コーディネーター ・補助金支援コーディネーター
b. 技術相談、 IT・知財相談		
c. 創業支援相談	原則、毎週火曜日	・創業支援コーディネーター
d. 経営相談	事前予約制	・瀬戸商工会議所 中小企業相談所職員 ・瀬戸金融協会所属 中小企業診断士
e. 海外展開・創業相談		

② 瀬戸商工会議所による専門相談（経営、法律、特許、税務、IT活用等の各種相談）

従来からの融資や税務相談に加え、インボイス制度や電子帳簿保存法等の申請に向けた事業環境の変化などに対応した相談窓口の充実を図る。

③ セミナーの開催

市内事業者の新事業展開、販路拡大、デジタル化等の取り組みを支援するために、各種セミナーを開催する。

(2) 事業者支援パンフレット作成

市内事業者の経営環境改善に向けた取り組みを支援するため、市内事業者が利用できる補助制度等を1冊にまとめたパンフレットを更新する。作成後は、市内金融機関窓口へ情報提供を行うとともに、関係機関と連携し関係各所へ配置するなど、制度の啓発を図る。

(3) 外部人材・専門家派遣活用事業補助金

経営改善に取り組む意欲がある市内事業者の経営力の強化するため、独立行政法人中小企業基盤整備機構又は公益財団法人あいち産業振興機構の専門家派遣事業に係る費用の一部の助成及び自社の課題解決のため業務委託により外部人材を活用する費用の一部を助成する。

(補助対象経費の2分の1、上限20万円(外部人材活用の場合は10万円)、同一事業者への交付は同一年度1回に限る)

(4) 販路拡大事業補助金

市内事業者が国内の展示会・見本市等に出展する場合の出展費用、技術PR用動画の作成費用及び企業間取引(BtoB)向けビジネスマッチングサイトへの掲載費用の一部を助成する。

(補助対象経費の2分の1、小売りを目的としない国内の展示会等への出展に対しては上限20万円(初出展の場合は30万円)、海外の展示会等への出展や渡航に対して上限40万円、小売りを目的とする展示会等への出展に対して上限6万円、ビジネスマッチングサイトへの掲載に対して上限20万円、技術PR用動画作成に対して上限10万円、同一事業者への交付は同一年度1回に限る)

(5) 知的財産登録費助成事業(知的財産権登録事業補助金)

知的財産権(特許権、実用新案権、意匠権及び商標権)の登録に係る費用の一部を助成する。

(補助対象経費の2分の1、上限15万円、同一事業者への交付は同一年度内で2件まで15万円を限度とし、通算3年度まで)

(6) 職場環境づくり応援事業(職場環境づくり応援事業補助金)

多様な従業員の働きやすい職場環境を整えることにより、生産性向上や雇用定着・確保の促進を図るため、産業支援センターせとのコーディネーターによる伴走支援を行うとともに、事業に要する費用の一部を助成する。

(下記①から③を組み合わせ活用可能。上限50万円、1事業者1回限り)

① 労働衛生整備事業

事業の用に供している市内の建物において、職場の労働衛生を整備する設備の新設又は増設に係る費用の一部を助成する。

(補助対象経費の2分の1、上限30万円)

② 業務改善 I T ツール導入支援事業

情報管理及びコミュニケーションの向上が図られる業務改善 I T ツールを導入する費用の一部を助成する。

(補助対象経費の全額、上限 10 万円)

③ テレワーク導入促進事業

働き方改革のためにテレワークを導入する費用の一部を助成する。

(補助対象経費の 2 分の 1、上限 20 万円)

(7) 情報発信事業

① 企業向け支援施策、セミナー開催等の情報提供

セミナーや国・県・市の支援制度について、産業支援センターせとのホームページに掲載するとともに、メールマガジンの送信及びインスタグラムでの配信により情報提供を行う。

② 地元企業の P R 支援

産業支援センターせとホームページの「瀬戸市企業ガイド」で市内企業の魅力を P R する。

③ 金城学院大学と連携した情報発信事業

金城学院大学と連携し、女子大学生が主体的に市内企業及びせと・しごと塾生の取材を行い、ラジオ放送、映像コンテンツ、ソーシャルメディア等を通して、若年層向けの情報発信を行う。また、座談会形式での取材や、縦型のショート動画を作成等により情報発信に取り組む。

(8) 海外展開支援

海外展開、グローバル化を目指す事業者に海外ビジネスを担う人材の受け入れ（採用・育成・定着）のノウハウを提供するため、日本貿易振興機構（JETRO）と連携し、高度外国人材の活躍促進に向けたセミナー、相談会を開催する。

(9) 新商品発掘・創出支援事業（新商品発掘創出支援事業補助金）

せともん“ど”セレクションのブランド化を促進するとともに、市内事業者の新商品の発掘・創出を支援し、開発に向けたセミナーを開催する。

また、創出に係る費用の一部を助成する。

(補助対象経費の 3 分の 2 又は 2 分の 1、上限 5 万円)

(10) スタートアップ連携事業補助金（新規）※新しい地方経済・生活環境創生交付金対象事業

市内事業者の経営課題の解決や生産性向上、高付加価値化を図るため、革新的なアイデアやスキーム（シーズ）を持つスタートアップとのオープンイノベーションによる連携事業に係る費用の一部を助成する。（令和 7 年度～令和 9 年度）

(補助対象経費の 3 分の 2、上限 50 万円)

(11) 付加価値向上を目指した実践型事業開発セミナー及びPR事業（新規）

※新しい地方経済・生活環境創生交付金対象事業

市内事業者が瀬戸焼関連事業者と連携して、自社事業や商品の見直し等、徹底的な自社分析を行い、自社の強みを再定義することに取り組むとともに、具体的な商品開発の立案、新規事業計画の策定、サンプル商品の開発、異業種交流会の開催までを一つのパッケージとした実践型事業開発セミナーを実施する。

（令和7年度・8年度：実践式セミナーの開催、個別支援等）

（令和9年度：事業展開・販路開拓に係るマーケティング・プロモーション費用等）

2. 産学・産産連携事業

(1) 大学及び専門学校との産学連携

技術支援コーディネーターのネットワークを活用し、大学等の研究成果（シーズ）と市内企業のニーズとのマッチングの機会を提供するほか、技術開発や人材交流に向けた関係づくりを支援する。

(2) 名古屋工業大学連携事業

① 市内企業見学会の開催

市内企業と名古屋工業大学及び学生の雇用に関するネットワークを構築し、市内企業への就業の促進を図るため、企業見学会を開催する。

② サテライトキャンパス（出張講義）の開催

名古屋工業大学のセラミックス工学分野をはじめとした研究成果（シーズ）を市内企業に普及することで、地域産業の発展に資するため、講師陣による出張講義の開催に向けて調整を図る。

(3) 産学・異業種連携促進事業

教育・研修機関との産学連携や異業種連携を推進する。

(4) 新事業展開・技術開発費助成事業（新事業展開・技術開発支援事業補助金）

市内事業者が行う新事業展開、新製品・新技術の研究及び開発に対して、大学・公的研究機関等との技術開発を目的とする共同研究、委託研究、材料や製品の分析、測定等を行う依頼試験に要した経費（経費の合計額が1万円未満の場合は対象外）の一部を助成する。

（補助対象経費の2分の1、上限30万円、ただし、大学等研究機関との契約を有しない依頼試験等に対しては上限10万円、同一事業者への交付は同一年度内で各区分において定めた額を限度とする）

(5) インキュベーション施設との連携（新規）※新しい地方経済・生活環境創生交付金対象事業

日本最大級のオープンイノベーション拠点である STATION Ai へ入居し、市内事業者の経営課題解決や生産性向上、高付加価値化に資する革新的なアイデアやスキーム（シーズ）を持つスタートアップとの連携創出や情報収集を図る。また、その他のインキュベーション施設との連携を図る。（令和7年度～令和9年度）

3. 人材育成・雇用促進事業

(1) セミナー・講習会の開催

① 瀬戸商工会議所講習会事業

瀬戸商工会議所において、パソコンや税務等に関する講習会を開催する。

② 総合人材サービス企業との連携セミナー及びワーキング事業（新規）

市内事業者を対象に、人材採用や社員定着を図るため、最近の動向や採用手法等についてのセミナー開催及び市内事業者複数社で人手不足解消に向けた取組を検討するワーキングを開催する。

③ その他セミナー・講習会の開催

市内事業者を対象に、働き方改革関連の助成金活用や、事業承継対策等を目的とした個別相談会及び講習会を開催する。

(2) 中小企業者研修費助成事業

中小企業の人材を育成するため、従業員や経営者の各種研修の受講を支援する。独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施する研修を受講した場合に、受講料の一部を助成する。（受講料の2分の1、上限5万円）

(3) 雇用対策事業

求職者に対して市内企業をPRするための企業ガイドブックの配布や、市内事業者が抱える雇用における課題の解消等に努める。

また、企業の採用活動が多様化、複雑化していることから、瀬戸・尾張旭雇用対策協議会と連携し、より効果的な雇用対策事業について検討していく。

(4) 企業訪問事業

産業支援センターせとのコーディネーターとハローワークの職員が連携して企業を訪問することで、人材確保支援や雇用に係る助成金活用等のアドバイスを行う。

(5) インターンシップ支援事業

名古屋産業大学等と連携し、複数の市内企業に1DAY インターンシップへの参画を得て、学生が多くの企業で学べる機会を提供する市内企業連携インターンシッププログラムを実施する。

(6) せとまちマッチング事業

学生、市内企業によるマッチングリストを作成し、リストに登録した学生、市内企業がツールを利用することで、企業見学会、社員との懇談会などの情報を共有し、お互いを知る機会を提供する。また、まち巡りなどの瀬戸市の情報を提供し、就職する地域の魅力を発信する。

(7) 未来創造たまご塾 in せと

瀬戸キャリア教育推進協議会及び瀬戸・尾張旭雇用対策協議会と連携し、市内の小・中学生と起業家や市内企業との交流を通して、地域経済の発展に欠くことのできない新たな価値創造ができる人材を育成し、市内企業の人材確保につなげていくワークショップを開催する。

4. 創業支援事業

(1) せと・しごと塾

地域の需要や課題をビジネスの視点でとらえた「地域ビジネス」の創業に必要な知識を座学と実学の両面から学ぶ機会や外部の起業家等との交流の機会を提供し、起業家を輩出するための環境づくりを行う。

対 象：瀬戸市で地域のためになる事業での創業を目指す者

事務局：瀬戸市、瀬戸商工会議所、瀬戸信用金庫

(2) 起業セミナー

市内で「起業したい」と考えている人を対象に、起業のポイントを伝え、起業を実現するためのきっかけを提供する。

(3) せと・創業くらぶ

創業希望者及び創業者を対象とした登録制コミュニティを創設し、相談窓口やセミナーといった経営課題の解決につながる各種支援情報をメールや LINE で提供することで、新たな創業者の輩出及び創業後のフォローアップを目指す。

(4) せと・創業カフェ

創業という共通の目標を持つ者が集まることで、創業に対する意欲を高め、創業者同士のネットワークの構築を助長するとともに、悩み・課題の解決を図ることを目的とする。

(5) 個別相談

市内で創業相談に実績がある専門家が、創業に係る課題解決のため、創業希望者や創業者への助言・指導を実施する。(年42回)

第5号議案

令和7年度瀬戸市地域産業振興会議 収支予算（案）

【収入】

（単位：円）

科 目	令和6年度	令和7年度	備 考
繰 越 金	2,115,916	1,000,361	
負 担 金	11,538,000	15,038,000	瀬戸市 10,500,000 瀬戸市 (新しい地方経済・生活環境創生交付金対象分) 3,500,000 ※令和7年度瀬戸市議会6月定例会にて補正予算上程予定 瀬戸商工会議所 386,000 愛知県陶磁器工業協同組合 386,000 瀬戸暁工業団地協議会 78,000 瀬戸市穴田企業団地連絡協議会 78,000 愛知県珪砂鋳業協同組合 39,000 瀬戸金融協会 39,000 瀬戸市商店街連合会 8,000 愛知県トラック協会尾東支部 8,000 日の出企業会 8,000 山の田企業懇話会 8,000
雑 収 入	2,084	1,639	預金利子他
基 金	2,000,000	2,000,000	瀬戸市地域産業振興基金
合 計	15,656,000	18,040,000	

【支出】

(単位：円)

括弧内：主な事業（内数）

科 目	令和 6 年度	令和 7 年度	備 考
会 議 費	5,000	5,000	総会、幹事会他
事 業 費	15,553,700	17,997,000	産業支援・交流事業 14,939,000 (内訳) 謝金・旅費 2,920,000 (専門相談 2,920,000) 印刷製本費 40,000 通信運搬費 112,000 資料購入費 10,000 委託料 4,177,000 (コーディネーター等委託 3,432,700) 補助金 7,500,000 (専門家派遣・外部人材活用 200,000) (販路拡大支援 3,400,000) (知的財産権登録 300,000) (職場環境づくり応援 600,000) (新商品発掘創出 500,000) (スタートアップ連携 2,500,000) <small>(新しい・地方経済・生活環境創生交付金対象分)</small> 備品購入費 10,000 消耗品費 10,000 負担金 150,000 雑費 10,000 産学・産産連携事業 1,823,000 (内訳) 謝金・旅費 114,000 印刷製本費 40,000 委託料 566,000 <small>(新しい・地方経済・生活環境創生交付金対象分 30万円を含む)</small> 補助金 400,000 使用料 700,000 <small>(新しい・地方経済・生活環境創生交付金対象分)</small> 雑費 3,000 人材育成・雇用促進事業 1,235,000 (内訳) 謝金・旅費 880,000 印刷製本費 40,000 通信運搬費 60,000 委託料 20,000 補助金 80,000 負担金 150,000 雑費 5,000
予 備 費	97,300	38,000	
合 計	15,656,000	18,040,000	

《特別会計》 創業支援事業 収支予算（案）

【収入】

（単位：円）

科 目	令和 6 年度	令和 7 年度	備 考
繰 越 金	154,396	143,405	
負 担 金	2,000,000	2,000,000	瀬戸市からの負担金
雑 収 入	100,604	141,595	受講費（7,000円×20人）、預金利子他
合 計	2,255,000	2,285,000	

【支出】

（単位：円）

科 目	令和 6 年度	令和 7 年度	備 考
事 業 費	2,100,604	2,141,595	謝金・旅費 704,250 交流事業 130,000 委託料 1,080,820 消耗品費 85,000 備品購入費 45,000 使用料 60,500 雑費 30,000 予備費 6,025
還 付 金	154,396	143,405	
合 計	2,255,000	2,285,000	

令和7年度 瀬戸市地域産業振興会議役員名簿

(敬称略)

役職名	団体名	職責	氏名
顧問	国立大学法人名古屋工業大学	学長	小畑 誠
顧問	瀬戸市議会	議長	富田 宗一
顧問	瀬戸市	市長	川本 雅之
会長	瀬戸商工会議所	会頭	河村 誠悟
副会長	愛知県陶磁器工業協同組合	理事長	中野 昭雄
副会長	瀬戸暁工業団地協議会	会長	水野 一隆
副会長兼 会計担当理事	瀬戸市	副市長	大森 雅之
理事	愛知県珪砂鋳業協同組合	理事長	山中 俊博
理事	日の出企業会	会長	山田 健史
理事	山の田企業懇話会	会長	清水 伸裕
理事	瀬戸市商店街連合会	会長	水野 忠治
理事	瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会	会長	鈴木 政成
理事	愛知県トラック協会尾東支部 瀬戸旭・ 守山部会	部会長	小林 永典
理事	瀬戸焼振興協会	会長	中野 昭雄
監事	瀬戸市穴田企業団地連絡協議会	会長	杉山 大介
監事	瀬戸金融協会	会長	成田 順一
参与	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 中部センター	所長代理	加藤 且也
参与	独立行政法人 日本貿易振興機構 名古屋貿易情報センター	所長	平野 修一
参与	一般財団法人 ファインセラミックスセンター	専務理事	獅山 有邦
参与	あいち産業科学技術総合センター 技術支援部 瀬戸窯業試験場	場長	福田 聡史
参与	経済産業省中部経済産業局 産業部 産業 振興課	課長	片桐 祐子
参与	愛知県 経済産業局 産業部 産業政策課	課長	社本 朗
参与	瀬戸公共職業安定所	所長	松永 由美